夕刊
十二月十三日發行
定價一ケ月金六拾五錢
（日曜祭日翌日休刊）

作者の顔

堤光泰

小説を讀んでゐて、そのうちにポーツと作者の顔が浮んで來ることのあるのは事實だ、たとひ見たことなくてもだ。

私はこれまで、岡田三郎氏のものは好んで讀み、又そのつど浮んだ氏の顔を多くの場合感じよく眺めてゐたのだ。ところが先月の『新潮』の『淫らな蟲』の場合は、讀んでゐるうちに、ヌーツと出て來た氏の顔には正面のところちとばかり嫌な氣がした、雪のむら消えみたいに白くぬけた削除が夥しく癪に觸つたことは勿論である。

このごろの日本の小説に見る淫猥の加減は全くどうかと思ふ、それが大低は皮相なヴアルガリズムであつて、人性的の深刻さもなく、滲み出る必然性にも缺けてゐる。いつそのこと猥のない朗かなものなら、それで我慢もする。例へば『バッド、ガール』を讀んでそのハリウド式な輕さ！甘さとには馬鹿々々しい氣がしても作者デルマーの顔を、まんざら惡い氣でもなく浮べられるやうなものである。何か憎めない本性の眞實な流れを持つてゐる。これとは本質的に異つたものではあるが、ジョイスの『ユリシイズ』は實際、瞠目的な官能の描寫を多分に含んでゐるが、私はその深さに、強さに、文字通り息を殺して參つた『口髭なき愛はなし！』と聲明するモオパッサンの『口髭』を讀んだときの如何にも申分のない髭を持つた彼の顔を思ひ浮べて可笑しくはあつたけれども決性の歪曲とを排するのだ。

彼を深刻なニヒリストだなんて買つてゐる人もあるがどうだか怪しいものだ。

一体どこに以上の相違が由來するか、單に私の氣まぐれな主觀の故か。私は文學に於ける若い肉と、熱い血との存在を拒否はしないが、周りに森のない池の如き藤のないむき出しと、不自然な指導樫倒れしまゝや草紅葉夕映に書院明るし草紅葉

昔のある有名な俳諧師が『尻毛を傳ふ雫云々』の句に附句を望まれて『水鳥の尾羽の氷けさ解けて』と附けたその上手な純化を眞似よと私は言ふのではない。顧みて他を言ふ必要もない。窓とばけるにもあたらない、たゞ思はせ振りなこれでもかこれでもか式の性化—（こんな言葉があるとすれば）を嫌ふのだ。そしてその蔭から、効果如何にと覗く相好を崩した作者の顔がたまらなく厭らしい。

（了）

潮聲

第四十九集　一

草紅葉　（互撰）

刈田ひろひろと畦草は紅葉せり　砂丸
雨あとの夕陽に映ゆる草紅葉　晩霞
彼岸花もまじりて堤の草紅葉　文狂
あそぶには手頃の山よ草紅葉
飛ぶ鳥の影落しげり草紅葉
下草の紅葉もよけれ鉢の松　鶴歩
西日さして白壁に映ゆ草紅葉
靜けさの山寺深し草紅葉　欽一
草紅葉露おく朝や色の濃き
草紅葉子等寢そべりてまんまごと
放馬飼ふ野や果てしなき草紅葉　眞砂常
紅葉せる諸草中の小家かな
指導樫倒れしまゝや草紅葉　雨香
夕映に書院明るし草紅葉

八手

江口新一

青い八手よ
秋風が
ほろり
朝閼にゆれてゐる
池面の上に
ほろほろり
秋が立くのか
露の滴
ほろり
八手の青い露
池面にほろり
八ッ落ちる

白さ「アミイ」

菅家京子

白き身のアミイ君こそは
胸を痛めて悲しくも寂しき日をば送り行く
弱き體の吾がアミイ、泪に暮れて、雄々しくも

拈華微笑

◇
接するの機會を逃がしたのは誰の罪か糺明せよ

◇
昂る米價。下る勞銀。けふ雪飛んで本格的師走

◇
カレダーあすから十八枚

◇……◇

◇
得て空つ騒ぎ勝ちの當局が何で講演會をコツソリ遣つたか

◇
經國の大言論に大低『週間』もおしまひだと思つたら犯罪豫防週間が殘つてた

◇
あすの日をば迎へんとする心こそけなげなれ世は皮肉にも、わがアミイ

◇
絶えず御身のまはりには冷たき笑ひを與へんと飢えし犬の如くなる吾れは理解と同情の心を君に贈るなり

◇
されど悲しきアミイかな吾に詫びつゝ白き身を離れて今は委なしアミイ今は何處に在る吾は夜毎夢に見てやるせなき身を如何せむ一度歸りてこの吾と樂しき昔しを語れかし戀しきアミイ、健やかに過し給へんこの吾は君に逢へるを待ちつゝも消息

△島田忠夫日本書展覽會十七、十八、十九の三日間『いはらき』新聞社後援のもとに、水戸平野書店階上にて開催。力作四十點を陳列する由。

△赤穂四十七士復讐（元祿一五）△ヂイミ12月14日——ス氏希臘新大統領に當選す（昭和四）△官幣中社吉備津神社燒く（同五）△各省政務官決定△對米爲替三十四弗に崩落△株式市場立會停止、商品界の沸騰等金輪出再禁止の影響現はる（同六）

〔社會の今日〕

○
二番目の火事の芝居のおもしろさ、纏を振つて行くは誰が子ぞ

吉井男

靴はいて女士官や慈善鍋中風

〔講談〕

お蘭陀お蝶

渡邊默禪作

（206）布施長寒譯

寂光坊は優しい調子で『村の交際、人々の義理、朋輩の好誼といふことを忘れて手も足も利かばこそ、陀絶したやうな眼をうつとりと開いて、瀕死のさまで呻めいてゐる。

『はッはッは、うッふッふ』

寂光坊は肩をゆすつて會心の高笑

『たい、〆めたぞ、出ろ、やいッ』

後方に向つて呼んだ、御簾を颯と開いて躍り出た二巴投の術にかけられ龍馬の頭の鬼！鬼ではない。祭に着る金襴の衣裳を上に被つて、鬼の假面を冠つた丹波武平と勘太の二人であつた

『大層うまくやつたな』

『へん、腕を見ろい、支度はいゝか』

『むン、ちやんと出來てらア、雲母坂から一足二分で遂げられ、衣裳や物見遊山狩り上げて來た乞食野郎が昨日ぴしやりと敲つた。

『わゝ痛ッ？』

勘太は手を放す所を、股の急所へいきなり明星の當屁餅ついた。

『や、奴はッ』

燈明の微光に龍馬の顔を覗いた丹波は、是れはと驚きながらも拔討に斬つけようとする手許へ、寂光坊は巴投の術にかけられ龍馬の頭上を跳ねて逆さまにどしりと顚がつて來た、そのはずみに刀の柄へ手をかけたなり双に倒れてのけ反つた

一方は大事露見と思つたので逃げようとばかりあせる、一方は成るべく怪我をさせずに手捕にしようとのみ加減する、自然ショフクの刀がにぶくならねばならぬ。

△七、三〇A 歌謡（假名手本三都花文字）唄…歌澤寅松　外
△八、〇〇A 忠臣藏花暦放送舞踊劇（清水一角）
△九、〇〇A 講演（義士の討入）一龍齋貞山
△九、三〇A 時報　ニュース　氣象

ラヂオ

……十四日…〔水曜〕……

仙臺　JOHK

△前七、〇〇
八、〇〇A ラヂオ體操
△九、〇〇 氣象
△九、一〇H 料理獻立（ハムと蕪のお汁）松本良雄
△一〇、三〇A 家庭講座（記憶すべき榮養上の主要な新事項）榮養研究所長醫學博士佐伯矩
△正午 時報　氣象
△後〇、〇五B 吹奏樂　大阪ブラスバンド　指揮…ヨセフ、リンケ
△〇、四〇A ニュース
△二、〇〇A 家庭大學講座（青年の心理青年の性的傾向）東大助教授青木誠四郎
△三、四〇 氣象
△四、〇〇 ニュース
△五、〇〇A 受驗講座（英文和譯）佐川春水
△五、三五H 常識講座（圓が何故下落したか）安田銀行副頭取森廣藏
△六、〇〇A 子供の時間
△六、二〇A コドモのシンブン　關屋五十二
△六、二五 英語講座（初等科）岡倉由三郎
△六、五五 カレント、トピックス　ハロルド、バーマー
△七、〇〇 ニュース　氣象

高久病院
平町田町（電話五一三番）
醫學士 高久忠
新潟醫學士 赤羽清
藥剤士 佐竹菊雄
內科 小兒科
外科 花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

何が梅月をそうさせたか
其れは時代の要求である。
行斷下値
斷然
酒 前一人 二錢
ル んし付 五錢
一 こん井し 五錢
で めんこ子 十錢
ん めどめ 十錢
し ど子め 十錢
レ ーレー 十錢
レ そんそ 十錢
ー そんるう 十錢
上ビ おお茶お天親牛カカ支うしぞ 十五錢
ライスうどんそば きこに 十二錢
其の他季節向料理何でも市價の五割安
平驛前通り　梅月食堂

夜診
腸胃
內科
十二指腸病
專門
內科部
性病
淋病
婦人病
專門
外科部
泌尿病科醫院
（平町南町電一〇七番）
治療
家庭治療器
王
オキシヘーラー
（ずら非に氣電し仙）
オキシヘーラは心臓の働きを強く正しくし病を根本より治す。理論より實際是非一度御來訪御實驗のほどを——。
高血壓、輕症中氣、心臓病、ルイレキ神經衰弱、生殖器衰弱、神經痛、リウマチス、流行性感冒、肺炎、氣管支加答兒、ロクマク炎、喘息、胃腸炎、中耳炎、黄疸、膽石、腹膜炎、盲腸炎、カクマク、ソコヒ、蓄膿症、痔疾、皮膚病、禿頭病、脚氣（症適應）
脫カタル、糖尿病、丹毒、婦人病、打身、切傷等々。
◎急性症にして發病直後に治療せば多くは數日にして全治し、難症、病疾と雖も熟心繼續治療によつて必ず治癒す
◎慢性の方は器械を買求め御自宅にて御治療せられたし。
七ケ郡一手販賣と實驗治療　原田良節
オキシヘーラー平實驗所
平町田町役場通り四九

吉田眼科病院
平町紺屋町

耳鼻咽喉科專門
平町田町七〇番地
山內醫院
醫學士 山內亨吉
入院隨意
病室完備
電話六九一番

開業廣告
內科
外科
全般
小兒科
醫學博士 渡部義夫
女醫 渡部きい子
平町田町大通
（入院應需）渡部外科
電話二七七

淋藥界の最高權威
無効返金
（二日間服効なき時は藥引換に全部返金す）
岩方病別淋藥
一週間…赤箱—金五圓　黑箱—金參圓
世界の名湯別府温泉で名高い。岩里家の家傳祕藥は男女血ウミ、コシケ、淋病淋渇に奇績的効果あり、どんな頑固な淋疾でも短時日に根治が出來且つ再發することなく注射や他藥で治らぬ諸賢は最後の藥として迷はず……名藥別府淋藥の御服用に依り幸福を得られん事を希望致します。
別府皮膚藥　金三十錢　金五十錢
天下の名湯別府温泉のラヂウム含有の精に各病醫院及最高學府の處方劑集め大成せる皮膚病特効藥であります、たむし、いんきん、みつむし、なまず、しらくも等其他皮膚病に卓効あり。
九州別府市鶴乃園　岩里天然堂
平町三丁目北裏通り
代理店　渡邊いと
（特約店募集）

內科
外科
花柳病科
一般
（入院隨意）
平町六丁目（橋際）
木村外科醫院
電話三〇九

◎日本石油株式會社特約店
ライジングサン石油株式會社重油特約店
關彰商店平支店
電話六一番
本店 水戸線下館驛前（電話五五番）
支店所在地
茨城縣土浦町田宿（電話六五三）
常磐線關本驛前（電話平潟五四）
常磐線四倉驛前（電話四八二）
營業種目
石油揮發油輕油、重油、モビール油、マシン油、機械油、植物油、胡麻、種水、カーバイト、コールタール、石炭、コークス、ストーブ……
〔型錄進呈〕
◇安全、便利、經濟のスタデリナ石油コンロ
◇完全燃燒のネンショースストーブ

當代名士の講演會に
涼し過ぎた當局の態度
東郷文部次官に禮を失した宣傳の不徹底に非難の聲

文部政務次官農學博士東郷實氏は昨十二日夜十一時三十分平驛着高井視察官、影山實補主事の出迎へを受け一時三十分平驛着高井視察官、影し了つて正午茨發少憩引續き座談會を開催し午後六時日午前十時から平第三小學校講堂に於ける講演會場に臨み『國難打開と精神日本の再建』と題し

中央集權政治が現日本の大きな行詰りである。とつた爲當日の聽講者は若干喝破しそれより產業國策の中小學校長、一部農村青に於ける商工業偏重を冒年に平陽女學校生徒を加へ頭し政治、產業、經濟等たに過ぎぬ案外の少數であの施設が都市中心で地方つた事を甚だ遺憾とされ該町村の顧みられぬを慨し樞しに對する當局の措置に地方農村に該施設を移し關し左右の非難が行はれて以て現況を打開し產業ゐるを發展せしめて農村の暗影を除くべきである。

當代の名士を迎へ乍ら縣當局では單に非大衆的も極まれる縣令を以て簡單な告示をした丈けで漫然として一般への周知方法を講じなかつた爲當日の聽講者は若干の中小學校長、一部農村青年に平陽女學校生徒を加へたに過ぎぬ案外の少數であつた事を甚だ遺憾とされ該當局の措置に對する當局の措置に關し左右の非難が行はれて以て現況を打開し產業ゐるを發展せしめて農村の暗

漁港位置に就て急速決定を陳情
江名町代表福島から東京へ

江名町中の作、折戸何れかに決する漁港修築計劃は係りの農林省橘技師が病氣の爲實地踏査が遲延し未だその位置の決定を見ぬが同地に於ける漁港の完成は過の風水害に徴しても一日の遲延をゆるさざる實狀に在るので河野町長及町議代表は今十三日出福先づ縣當局の諒解を求め更に上京農林省に技師の急速派遣方を陳情する

玄米俵九圓の高値
去年より二圓三十六錢の騰貴
昨日植田での取引

植田由田農會聯合主催農產物品評會は九日から植田小學校に開催、出品六百餘點に達し昨十二日審査の上褒賞授與式擧行後出陳米穀の共同販賣を行つたが出荷四等十二俵、五等六十五俵、等外甲十六俵、同乙三俵合計九十六俵で四等玄米俵當り賣に九圓の高値で取引されたが之は郡下最初の新米共販である、尙昨年同期の六圓六十四錢と比較すれば俵二圓三十六錢の高値で平日之をテーマとしてゐる支米穀商組合では近く再た値上すると言つて居る、因に去月五日以降の相場經過左の如し

△去月五日七、五〇錢△十五日七、八五△二十五日八、〇〇△今月五日八、

磐中人國記　十三
赤井嶽男記

△完成された人々

16坂本義孝氏（內郷）東亞同文書院教授。ドクトル、オブ、フイロソピーカ洲大學卒業

（承前）ラヂオも新聞も毎日八、〇〇△今月五日八、

（一〇一件）試掘一一、二三七圓六三（七七件）で計四萬圓近くの巨額に上り炭況不振のドン底にあつた昨年度の如きは期間內の納付が六割に過ぎなかつたが今年は幾分活氣を呈しつつあるので成績は稍々良好ではないかと豫想されてゐる。

養正會支部發會　立憲養正會磐崎支部發會式は昨十二月午後四時から同村小學校に開き會員の政談演說後役員を選擧した

被害地調査
免租手續に着手

風水被害地の免租に就き平稅務署では『荒地に就ては納稅義務者の申請により荒地となりたる年及其翌年より十五年以內の荒地免租年期を附與す（荒地とは災害に因り地形を變じ又は作土を損傷したる土地）』の規定に基き被害の深淺により免租年期を與ふべく目下各町村に就て調査中である

國稅徴收巡回督勵
唯野署長山間部へ出張

今月末が納期の平稅務署管內鑛區稅賦課額は採掘二六、二七八圓八〇〇△十三日八、九〇

鑛區稅納期
今月限りの四萬圓

平稅務署では每年十二月に入ると滯納整理に忙殺されるのが例であるが今年は過般の暴風水害で滯納者が一層增加し徴收甚だ困難なるべきを豫想し唯野署長が陣頭に立つて十五日は山間部で最も不成績な永戸村に出張し數日は就勞不在の爲夜間宿屋に一同を集め納稅義務の忽諸に附すべからざる所以を懇諭し引續き各方面を巡回するといふ。今十三日現在の未納は

畑雜地租二三八圓三六錢三八二名、營業收益稅八一二圓二六錢九九名

引揚げては見たが腐つて使はれぬ
小名濱築港の浚渫船

小名濱商港修築は目下防砂來之れが引揚作業中昨十二防波の築堤工事を急いでゐるが浚渫船が過般の暴風でく腐蝕し全然使用に堪へぬ沈沒し工事進行を阻害するので漁業組合と町當局では工事少くなかつたので五日以之が代用として二千五百圓

被害地調査
免租手續に着手

風水被害地の免租に就き平稅務署では『荒地に就ては納稅義務者の申請により荒地となりたる年及其翌年より十五年以內の荒地免租年期を附與す（荒地とは災害に因り地形を變じ又は作土を損傷したる土地）』の規定に基き被害の深淺により免租年期を與ふべく目下各町村に就て調査中である

國稅徴收巡回督勵
唯野署長山間部へ出張

今月末が納期の平稅務署管內鑛區稅賦課額は採掘二六、二七八圓八〇〇△十三日八、九〇

鑛區稅納期
今月限りの四萬圓

平稅務署では每年十二月に入ると滯納整理に忙殺されるのが例であるが今年は過般の暴風水害で滯納者が一層增加し徴收甚だ困難なるべきを豫想し唯野署長が陣頭に立つて十五日は山間部で最も不成績な永戸村に出張し數日は就勞不在の爲夜間宿屋に一同を集め納稅義務の忽諸に附すべからざる所以を懇諭し引續き各方面を巡回するといふ。今十三日現在の未納は

畑雜地租二三八圓三六錢三八二名、營業收益稅八一二圓二六錢九九名

五百通を九分で區分
賀狀洪水を前に控へて
平郵便局員の腕ためし

平郵便局では二十日から目長から夫々賞品を授與されの廻るやうな年賀郵便取扱ひ準備に取掛るので一昨十一日午前十時から午後三時まで局員の各種競技會を開催したが書留差立一等十一分（五十通）赤塚、普通郵便行政區分把束十分（以下五百通）大友、縣內配達區分九分五十四秒小野、府縣同十九分二十秒阿部で戶石局

檢査料横領
平署の調査進む

平署では一兩日來濱三郡木炭同業組合所屬双葉郡擔當檢査員に關する取り調べを進めてゐるが檢査料の横領問題らしいと

匡救事業全部着工
五十五萬圓の匡救土木事業
每日就勞の三千四五百人

である平土木監督所管內平策なれば唯因時制宜によりて機と變に應じ處する外は無之候。云々

三十年前に於ける一青年學徒の卓見として毫に肯綮に當るものがある。飄雲覆雨は竟に古來一貫したる支那の國情であつた。

艶麗な叙景詩

通信はそれより學校の機構を詳述して更に其の頃の上海を次の如く紹介してゐる。

——本書院は佛租界に接し江南製造機器局に隣り城壁を距る數町、楊柳爵年坂本の驚異振り躍如たる宛として一箇の叙景詩。青

策なれば唯因時制宜によりて機と變に應じ處する外は無之候。云々

三十年前に於ける一青年學徒の卓見として毫に肯綮に當るものがある。飄雲覆雨は竟に古來一貫したる支那の國情であつた。

艶麗な叙景詩

通信はそれより學校の機構を詳述して更に其の頃の上海を次の如く紹介してゐる。

——本書院は佛租界に接し江南製造機器局に隣り城壁を距る數町、楊柳爵年坂本の驚異振り躍如たる宛として一箇の叙景詩。青

平局の窓口に見る師走戰線の緊張
鬼債を簡保の借出しに仰ぐ人
小爲替の支援に笑む人、等々

農村から景氣が湧いて來たとは云ふものの、町の師走は債鬼に追はれるあさましくも呪はれた風景が點在する、此頃の郵便局、わけても爲替係、年金保險の係員は朝から多忙な人の交渉で目を廻してゐる。小爲替で遠方からの支援を受ける人は幸福さうな微笑を擡げて立ち去るけれども年金と保險の前に佇んでゐる人々の姿は妙に哀れである、この人々はお正月を迎へる前に鬼債の處理を、年金と簡易保險の借入金で濟まさうとするのが大部分である、第迫してゐる人々に取りまかれた掛員は這般の消息を知つて、懇切丁寧に應待してくれるが、人垣は次第に數を殖やして行く、うらさびしい年末情景でばある。

赤井村赤井山崎吉造（四八）は昨十二日深更泥醉して新田町地內を徘徊各戶を覗き歩いて平署員に說諭を受けた

家出。內郷村高坂御殿山武郎弟高木安郎（七）は十一日夜無斷家出したので實父から平署に搜索方を願ひ出た

隔離。內郷村高坂草野留七（三）は昨十二日腸チフスと決定隔離された

谷川温泉から
昨夜突然電命により當奥利根谷川温泉に參り候。當地既に雪あり、上越線開通後に於ける發展驚くべきもの有之候、御發展を祈る（十二月十一日千葉生）

ラスブーチーんの同行失念は昨夜の……の爲

（よの字）

奥利根温泉は掘れば掘る程熱い湯が出ますひさんはにとなしかつた

（大貫）

年持品の現金化に迫る行商も焦る
慌だしい師走街頭のクローズアップ
……（L）……

▽△

一九三二年の師走も慌しい幕の狂躁曲を奏でながら次第に移り行く中を琴々たる太鼓の撥捌きも景氣良い神樂師をはじめ、惠比壽大（？）等。等——。が巷に跳梁する。

▽△

外人にとつても亦清算の月である、橫濱邊から盛んに流れ込んで之亦手持品の一掃に東奔、西奔口を酸つぱくして……。

『奥さんプレゼントどうでしやか、あなた何買ふ高い？これ嘘ない、いつぱい損してる……』

接續詞の無い寄せ木細工の日本語で大童であるが賣り上げは安全剃刀の一枚位が落ち。

▽△

支那行商人は、自國の形勢の如く鼻の下も險惡だ。

『かま口安しゆくしましゆが……』

憐れを乞ふ如く家から家へ泣きそうな顔をして空ッ風の襞々と吹き捲る師走の街頭を悄然と泥の凍て着いたゴム靴を引き摺つて行く。

（玲光生）

黑、サンタクロース。さては『盜難、水害、疾病、火災を拂ひ給ひて南賈倍々繁昌……』てな調子で小錢を賈ひ歩くブローカンな神官

工事は此程全部着工したが既に夏井村地內四倉管線

の如き竣功した個所もありの登錄勞働者七千二百餘名中日々三千四五百人を使役し線つつある。

投槍
投書歡迎

抑何人の主催ぞ

◇文部次官の東郷實博士が來られると云ふ噂を聞いて講演會の日時場所などの人　一家和樂の兆迎て益あり開店普請移轉亦吉▲九紫の人　便りに思ふ人にみ放さるじ立の覺悟を要す

藤沼醫院　平町紺屋町電五〇七

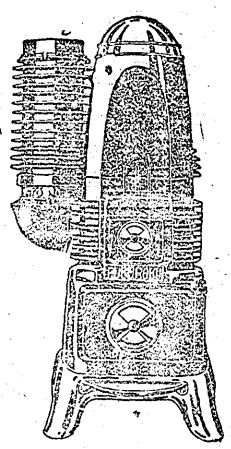
內臟外科　整形外科　泌尿器科　醫學士內木宗八　平町新川町十九番地

外科　產婦人科　木村病院　電話一六四番

耳、鼻、咽喉科　氣管食道科　專門　平町南町（電一〇七番）　大和田醫院　大和田都司　（自炊の便あり）

內科　一般　難波醫院　醫學博士難波睦　平町大町新川端（電話五〇二番）

嚴冬の征服者　福祿ストーブ　戶每に福祿！四海は常春！！



電話三七番へ——カタログ御申越下さい早速持參致します　福祿ストーブ福島縣一手販賣　阿部石炭商店　平停車場前

お醬油は……ヤマフル　鹽屋　味噌醬油　たひら正宗　鰹節食料品　山崎合名會社　福島縣平町　電話（營業部一〇番　店二七番）　明治生命磐城代理店　山崎與三郎

專門　一般內科　內科ハ何デモ診療致シマス　呼吸器病バカリデハアリマセン　平町南町六五（電話一八一番）　川井內科診療所　醫學士女醫　川井重之　川井安子